

とう こちら奈良市東部出張所です

4 令和6年(2024年)
月 No.80

目次

- P.1 ご挨拶・東部出張所からのお知らせ
- P.2 協力隊活動報告・予定（寺尾）
- P.3 協力隊活動報告・予定（若井）
- P.4 ご案内



こんにちは。東部出張所の藤原卓二です。

新しい年度を迎えたが、皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、観測された最大震度は震度7を記録しました。地震による家屋倒壊や土砂災害、津波などにより、死者が200人を超えるなど、甚大な被害が発生しました。奈良市も被災地支援に取り組み、東部出張所からも1名、2月14～20日の7日間、職員派遣第9陣として石川県穴水町において仮設住宅申込、住宅応急修理申込、生活再建支援金受付等の窓口業務に従事しました。

この度の能登半島地震により、甚大な被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

東部出張所からのお知らせ

ドローン配送の実証実験の実施

医薬品の配達を行いました

令和6年2月26日から28日にかけて、処方薬配達及び災害時の医薬品配達に向けた薬局を起点としたドローン物流の実証実験を実施しました。

□地域の課題について

東部地域（月ヶ瀬、都祁を除く）の調剤薬局は、ひだまり薬局田原店の1箇所のみで、処方薬を受け取るために市街地もしくは田原地区まで行かなければなりません。今後、高齢化による免許返納が進み、処方薬を受け取りに行くことが困難になる方が増えることが想定されるため、自宅などで処方薬を受け取れる仕組みづくりが望まれます。

□災害時の医薬品配達について

災害時において、道路等が寸断された場合に避難所への陸路での医薬品配達が困難になることが想定されるため、代替できる輸送経路の確立が望れます。



実施内容

□処方薬の空送[薬局→患者宅]

- ①薬局から患者宅へタブレットを空送
- ②タブレットを使用したオンライン服薬指導
- ③処方薬の空送

□医薬品等の避難所への空送[薬局→避難所(東部出張所)]

- ①薬局と避難所をオンライン通話でつなぎ、状況説明
- ②必要な医薬品等の空送
- ③オンライン通話で薬局が避難者の症状を確認
- ④薬局の指示のもと避難所配置員が避難者へ医薬品等を渡す

今後の展開

費用面などの課題もある中で、今後も実証実験を行いながら一日も早い社会実装に向けて様々な可能性を探っていき、住み分けられる地域づくりを目指します。

自分ごと化会議について

3つの提案が出されました

昨年度、東部地域にお住いの皆さまに参加のご協力をいただきながら、地域が抱えている課題や、持続可能な地域社会の実現について議論をする「自分ごと化会議」を行いました。

令和5年8月から11月まで、全4回にわたり開催された会議には30名の参加があり、「共助・地域コミュニティを強化する手法」をテーマに議論を行いました。議論された内容は「提案書」として取りまとめられ、奈良市へ提出されました。

これらの提案を受け、今後東部出張所では住み分けられる地域づくりに向け、地域コミュニティの強化につながる取り組みを進めていきます。

□テーマ 共助・地域コミュニティを強化する方法

会議のテーマについて右記の3つの提案が出されました。

提案 誰かが動くのを待つのではなく

① ワクワクする将来が見える活動をつくっていこう

人口は減り続けている中で、活気のある地域にしていくためには、誰かが動くのを待っているだけでは前に進まない。自分たちがワクワクする活動をつくっていくこと、誰かの「やりたい」という思い（ビジョン）が他の人々にも伝播し、活動の輪が広がっていくことが重要と言える。強制参加ではなく、自由に積極的に参加したくなるような活動をつくっていこう。

提案 コミュニティのあり方について地域単位で

② 「自分ごと化」し、議論できる場をつくろう

東部地域は、地域ごとに特色がある。コミュニティのあり方についてもそれぞれに違いがあるため、より身近で具体的な単位で今後のコミュニティを考える場が必要である。地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」を開催し、地域を自分ごととして考える輪を広げていこう。また地域ごとの特色や行事を可視化し、共有するための仕掛けづくりも進めていこう。

提案 既存コミュニティを今までのあり方にとらわれず ③ 本当に必要な機能をゼロベースで見つめ直そう

消防団の議論に象徴されるように、既存コミュニティは、どの機能が必要なのか、今の運営体制のままで良いのかなどについて、ゼロベースで見直すことが必要な時期にあると言える。地域単位の「ミニ版自分ごと化会議」も活用しながら、具体的な状況を把握し、既存コミュニティの見直しを進めていこう。

有害鳥獣対策セミナーを開催しました

3月13日(水)に東里地域ふれあい会館にて、有害鳥獣対策セミナーを開催しました。当日は約25名の皆さまにご参加いただきました。

有害鳥獣被害の対策に取り組まれている講師をお招きし、鹿や猪などの野生動物の習性、侵入を防ぐための対策、中小型獣類への対策等のお話をいただきました。

野生動物がどのように侵入してくるのか、侵入を防ぐためには何が効果的なのかなど、実際に撮影された動画を交えて具体的にお話され、今後の対策に活かしていただけた内容となりました。

ご活用いただける対策については、5月号の紙面でご紹介いたします。



第16回柳生さくら祭開催

柳生さくら祭は、柳生地区7町における手作りの「春の地区文化祭」です。

第16回目を迎える今年の「柳生さくら祭」は、地域の魅力をさらに広げるために、大和高原に伝わる伝統芸能を数多く発表するとともに、恒例の柳生新陰流を中心とした古武術の披露や、民謡・ダンスなどに加え、田原地区伝統芸能保存会の方々による謡いで、千本杵餅つきを実施します。その他、子どもからお年寄りまで楽しめるステージを企画しています。

満開の桜の下、地元のグルメを楽しめる「きずな市」でおなかを満たしながら「柳生さくら祭」をお楽しみください。

日時 4/6(土)10:00～16:00 4/7(日)10:00～15:30

場所 旧柳生藩 陣屋跡(柳生町339)

お問い合わせ 柳生観光協会 (TEL:0742-94-0002)

新たな地域おこし協力隊が着任します

東部出張所では現在2名の地域おこし協力隊が活動していますが、4月1日より新たに1名が着任します。

詳しくは、5月号にてご挨拶いたします。

会員制買物サービス

「おたがいマーケット」がはじまりました

3月号でもお知らせしました、日本郵便による会員制買物サービス（おたがいマーケット）が3/27(水)の配達からはじめました。イオンネットスーパーの商品を、月ごとの定期制で、東部地域内の拠点で受け取ることができるサービスです。現時点での受取先は、月ヶ瀬ワーケーションルームONOONOと須川郵便局ですが、今後、順次増える予定です。サービスの内容やお申込み方法など、ご不明な点などございましたら、近隣の郵便局へお問合せ下さい。

※昨年度、実証実験で実施していた「共助型買物サービス」の実装版です。

東部地域の観光情報はこちら→

奈良市東部の観光・案内サイト「さとやま」



す。とうぶだより

活動報告

(地域おこし協力隊：若井義治)



黒竹の花が咲きました。
諸説ありますが、120年に一度花が咲くとのことです。

令和3年9月に奈良市東部地域おこし協力隊に着任して、2年半が過ぎようとしています。僕の任期は今年8月末までとなり、残り5ヶ月になりました。

トラブルもなく、つつがなく過ごせたことは、地域の皆さまが温かく見守ってくださったおかげであると、感謝しております。

特に居住地である柳生の皆さんにおかれましては、公私に渡りお世話になりました、誠にありがとうございました。

残りの任期も全うできるように努力してまいりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

空き家調査について

令和5年12月に送付しました、空き家アンケートの返信がまとまりました。ご返信いただいた皆さんにおかれましては、ご協力いただきありがとうございました。

ご相談を希望される方へ、お電話でのアプローチを開始し、3月15日現在、2件の物件について現地の立会いまで進んでおります。調整中の所有者の方もいらっしゃいますので、立会い数は今後も増えるものと思われます。

また、登録へのフォローを行っている奈良市空き家バンクのホームページでは、僕が調査と現場立会いをした物件は6棟掲載されています。今後これらの物件が利活用されることを願っております。

ご自身で空き家を所有されている方や、お知り合いの方でお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。ご相談をお待ちしております。

地域おこし協力隊

Facebook



過去の誌面



奈良市東部地域おこし協力隊

事務所：奈良市大柳生町4735

TEL：0742-93-0178（不在時あり）

4月

令和6年
(2024年)

セミナーへの参加



講習の会場がある大和八木へ行きました

3月7日に奈良県が主催する「土地の管理・利用促進のための講習会」へ参加してきました。

土地や空き家の有効活用に向けて、奈良県で取り組んでいる「土地管理・利用に関する条例」の話がありました。こちらは、令和5年12月より施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正を受け、奈良県での土地・空き家の利用促進を目的とした条例となっており、整備が進められております。

その他、僕もお世話になっている空き家コンシェルジュによる空き家の実態についてのお話や、山添村で活動している事業者による山村地域での取り組み、他自治体での地域と連携した空き家への取り組みなど、有意義なお話を伺いました。

今後の空き家利活用・移住促進のミッションに活かして参りたいと思います。

今月の予定

- 柳生さくら祭り参加 4/6(土) 4/7(日)
- 空き家所有者へのアプローチ継続

活動報告

(地域おこし協力隊：寺尾志保)

奈良ひとまち大学での講演～奈良の東部は素敵がいっぱい～



2月25日に中部公民館にて、奈良ひとまち大学に講師として若井隊員と一緒に出演させていただきました。ついに市街地での活動となりました。

定員15名での開催でしたが、当日は13名の方にご参加いただきました。「5名さまくらいだろうな」という予想をしていたので、とても嬉しかったです。

はじめに、本日の講演内容の「奈良の東部は素敵がいっぱい」について、どのような点に興味をお持ちになったのか、その理由が知りたく、受講者の皆さまにご質問させていただきました。

皆さまからは、「奈良に長年住んでいるけど、知らない地域。知りたい。」「柳生街道を歩きたい。」「遠いイメージ。どんなところなのか知りたい。」「奈良が好き。観光で違う。住みたい。」「移住関係のTVを見て、奈良の地域おこし協力隊がどのような活動をしているか知りたかった。」「奈良市の西はよく行くが、東は行かない。知りたい。」「今まで興味なかったが、散歩をしてみたい。東はキレイなイメージがある。」「といったお声をいただきました。

東部地域の観光に興味がある受講者さまが多数いらっしゃることがわたり、とても嬉しかったです！

次に、東部地域へのアクセスについてご説明をしました。市街地にある最後の「コンビニ」の場所など、初めて東部地域に来られる際に、確認していただきたいポイントなどをご紹介しました。

さらに各地区についてオススメスポットやイベントなどを詳しく紹介しました。「Tobu高原マルシェ」のPRなどのお話や、私達が地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけ、移住してピックリしたものをお話させていただきました。



東部地域の紹介後は、隊員それぞれの活動報告をしました。私の時間は、動画で活動報告をしました。この講演だけのこぼれ話もさせていただきました。

もちろん最後には軽い体操。ただの報告だけでは終わりません。参加された皆さまはピックリれたと思います。

あつという間に時間が経ってしまい、参加された皆さまと、もっと個人的に「おしゃべり」をしたかった、という感想です。細かい情報をお伝えすることができず、ご期待に添えなかったこともあると思います。反省と課題がたくさん残った講演となりましたが、チャンスをいただけた幸せと、「寺尾さんから元気をいただきました」という感想をいただき、嬉しくてこちらが元気になりました。

憧れの地「奈良」に来ることができたのも地域おこし協力隊制度のおかげです。奈良でここまで生きることができたのは繋がって下さった東部地域の皆さまのおかげです。資料作成をしながら、2年半を振り返り、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当にありがとうございます。

「できたこと」「できていないこと」の整理ができ、最後に挑戦したいことが見えてきました。

令和5年度がおわり、いよいよ最終年度の令和6年度が始まります。笑顔で卒業を目指し、年度末まで挑戦させていただきます。

今後、3期隊の卒業イベント（土曜日を予定）を計画し、告知させていただきますので、お時間がありましたらお立ち寄りくださいませ。これからも地域おこし協力隊をよろしくお願いいたします。

今月の活動予定

内容・お申込みは
こちら

- オンライン介護予防教室（毎週火曜）13:30～14:30
- 柳生さくらまつり 4/6(土) 4/7(日)
- 大柳生町万年青年クラブ主催 4/7(日)「ほぐし体操（仮）」
- 阪原コスモスの里主催 4/27(土)「サロン」

